

八丈 高等学校 令和8年度（1学年用）教科

国語

科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：

使用教科書：（大修館書店『新編 現代の国語 改訂版』）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 社会生活で必要とされる国語能力の特質を理解し、卒業後も適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 社会生活における他者との関わりの中で、相互に伝え合う力を高め、思考力や判断力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 言語に対する感覚を養い、生涯にわたって国語を尊重し、国語力を高めようとする態度を身に付ける。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元：ことばをひらく「言語の機能」「ことばを選んで話そう」 【知】言葉のもつ機能について理解する。 【思】場に応じた表現について理解する。簡潔な文章を書く。 【学】漢字小テストに積極的に取り組む意欲を身につける。ICT機器を活用し、正しい知識を身につけようとする。	・教科書 ・漢字小テスト ・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	9
	振り返りテスト					○	○	○	1	
	単元：ことばをひらく「この春、なにを始めよう」 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を理解する。 【思】文章の構成をとらえ、筆者の主張を理解する。 【学】漢字小テストに積極的に取り組む意欲を身につける。ICT機器を活用し、正しい知識を身につけようとする。	・教科書 ・漢字小テスト ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	9
	単元：読書の広場「本のPOPを作ろう」 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を理解する。 【思】他者に伝える際に適切な文章や構成について理解する。 【学】読書体験を通して多様性への理解を深め、自身の生活に生かそうとする態度を身に付ける。	・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用 ・作品（POP） ・図書館活用		○		・出席状況 ・POP作品への取組状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	8
	振り返りテスト						○	○		1
2 学 期	単元：わかりやすく説明する「絵や写真を説明しよう」「手順を説明しよう」 【知】正確にわかりやすく説明するために適切な語句を選んだり、比喩や例示などの修辭を用いたりしている。 【思】読み手にわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開、表現のしかたを工夫している。 【学】正確にわかりやすく説明する文章を書くことに意欲をもち、積極的に学習活動に取り組もうとしている。	・教科書 ・漢字小テスト ・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	振り返りテスト					○	○	○	1	
	単元：聞く力・話す力をはぐくむ「ショートスピーチをしよう」 【知】話し言葉の特徴をふまえ、わかりやすさ、適切さに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 【思】スピーチで話す内容を集め、伝えたいことを明確にして、話の構成や展開を工夫している。 【学】ショートスピーチに積極的に学習活動に取り組もうとしている。	・教科書 ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	8

八丈 高等学校 令和8年度（2学年用）教科

国語

科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：

使用教科書：（大修館書店『新編 言語文化 改訂版』）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 実社会で必要とされる国語能力の特質を理解し、卒業後も適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 社会生活における他者との関わりの中で、相互に伝え合う力を高め、思考力や判断力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 言語に対する感覚を養い、生涯にわたって国語を尊重し、国語力を高めようとする態度を身に付ける。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元：ことばと出会う「言葉の森を育てよう」 【知】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 【思】文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえる。 【学】言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直す態度を養う。	・教科書 ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	8
	振り返りテスト					○	○	○	1	
	単元：表現を味わう「とんかつ」 【知】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思】文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について理解する。 【学】登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとする態度を養う。	・教科書 ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用 ・図書館活用			○	・出席状況 ・POP作品への取組状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	9
	単元：書いて伝える「本のPOP」 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】他者に伝える際に適切な文章や構成について理解する。 【学】読書体験を通して多様性への理解を深め、自身の生活に生かそうとする態度を身に付ける。	・読解力ドリル ・授業ワークシート ・作品（POP） ・タブレット端末活用 ・図書館活用			○	・出席状況 ・POP作品への取組状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	9
振り返りテスト						○	○		1	
2 学 期	単元：物語を受け継ぐ「羅生門」 【知】語句の意味、比喩表現の理解、文学史の位置づけについて理解する。 【思】情景に込められた心情描写、登場人物の心情変化を理解する。 【学】豊かな表現力を身に付ける態度、生涯にわたり文章に親しむ態度を身に付ける。	・教科書 ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	11
	振り返りテスト					○	○	○	1	
	単元：古文に親しむ「十二の『子』文字」 【知】文語のきまりを理解する。 【思】文章の内容を的確に捉える方法を学ぶ。 【学】古文の特徴を理解し、古文学習の意義を見出す。	・教科書 ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	7

八丈 高等学校 令和8年度（3学年用）教科

国語

科目 文学国語

教科：国語

科目：文学国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：

使用教科書：（第一学習社『高等学校 標準 文学国語』）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 実社会で必要とされる国語能力の特質を理解し、卒業後も適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 社会生活における他者との関わりの中で、相互に伝え合う力を高め、思考力や判断力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 言語に対する感覚を養い、生涯にわたって国語を尊重し、国語力を高めようとする態度を身に付ける。

科目 文学国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	単元：現代の小説 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追い、題名にこめられた意味を考える。 【学】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶ。	・教材 相棒（内海隆一郎） ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	9
	振り返りテスト						○	○	○	1
	単元：現代の小説 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】内容や構成、展開、描写の仕方、表現の特色などを的確にとらえ、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学】作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・教材 清兵衛と瓢箪（志賀直哉） ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	9
	単元：書いて伝える「本のPOP」 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】他者に伝える際に適切な文章や構成について理解する。 【学】読書体験を通して多様性への理解を深め、自身の生活に生かそうとする態度を身に付ける。	・読解力ドリル ・授業ワークシート ・作品（POP） ・タブレット端末活用 ・図書館活用		○		・出席状況 ・POP作品への取組状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	8
	振り返りテスト						○	○		1
2 学期	単元：戦争と文学 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】作中人物に起きた事や人物相互の感情の変化について理解する。 【学】作品の解釈を踏まえて、人間、社会・自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・教材 バグダッドの靴磨き（米原万里） ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	振り返りテスト						○	○	○	1
	単元：戦争と文学 【知】文学的な文章やにおける文体の特徴や表現の技法を理解する。 【思】内容や構成、展開、描写の仕方、表現の特色などを的確にとらえ、内容を解釈するとともに、解釈の多様性について理解する。 【学】作品の解釈を踏まえて、人間、社会・自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・教材 春—イラクの少女シャミラに（柴田三吉） ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10

八丈 高等学校 令和8年度（4学年用） 教科

国語

科目 文学国語

教科：国語

科目：文学国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 4 学年

教科担当者：

使用教科書：（ 第一学習社『高等学校 標準 文学国語』 ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 実社会で必要とされる国語能力の特質を理解し、卒業後も適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 社会生活における他者との関わりの中で、相互に伝え合う力を高め、思考力や判断力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 言語に対する感覚を養い、生涯にわたって国語を尊重し、国語力を高めようとする態度を身に付ける。

科目 文学国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝えあう力を高める。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元：言葉と表記 【知】正しい文章の表記や言葉遣いについて理解する。 【思】整った文章や相手に応じた言葉遣いについて理解する。 【学】正しい言葉遣い等を理解した上で他者と関わる姿勢を養う。	・教材 係り受け、敬語 話し言葉と書き言葉 ・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	7
	振り返りテスト					○	○	○	1	
	単元：言葉と表記 【知】正しい文章の表記や言葉遣いについて理解する。 【思】進路活動における志望理由書の作成において必要な整った文章や相手に応じた言葉遣いについて理解する。 【学】正しい言葉遣い等を理解した上で他者と関わる姿勢を養う。	・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	9
	単元：書いて伝える「本のPOP」 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】他者に伝える際に適切な文章や構成について理解する。 【学】読書体験を通して多様性への理解を深め、自身の生活に生かそうとする態度を身に付ける。	・読解力ドリル ・授業ワークシート ・作品（POP） ・タブレット端末活用 ・図書館活用		○		・出席状況 ・POP作品への取組状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	振り返りテスト						○	○		1
2 学 期	単元：近代の小説 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】内容や構成、展開、描写の仕方、表現の特色などを的確にとらえ、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学】作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・教材 鼻（芥川龍之介） ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	振り返りテスト					○	○	○	1	
	単元：戦争と文学 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】詩の構成の意図を考え、過去と後半生に対する「わたし」の心情をつかみ、詩の主題を理解する。 【学】作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・教材 わたしが一番きれいだったとき（茨木のり子） 死んだ男の残したものは（谷川俊太郎） ・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	7

